

「子どもと地域をつなぐ公民館活動」

～「千手ふれあいじゅく」「夏休み☆ときめき学習」を通して～

嘉麻市 嘉穂地区公民館千手分館【公立公民館】 館長 豊田一元

1. 事業名 「千手ふれあいじゅく」
平成 18 年度から開始。事業の対象者は旧千手、泉河内校区の児童
「夏休み☆ときめき学習」
平成 22 年度から開始。事業の対象者は旧千手、泉河内校区の児童
2. 目的 千手分館の青少年健全育成事業として、地域コミュニティの維持と住民自治の向上を図る。
3. 事業の実施主体 嘉穂地区公民館 千手分館
4. 地域の概要
千手地区は、福岡県の中央部にある嘉麻市の南西部に位置し、山林と農地に囲まれた自然豊かな中山間地域である。
地区の人口は 1,785 人、世帯数 662 戸、旧千手小と旧泉河内小区の児童数 87 人を対象とした地域である。
5. 連携・協力機関・団体等 嘉穂小学校 P T A、嘉穂小学校、嘉穂地域女性の会、子ども会、地元高校生
6. 実施に至る経緯
平成 18 年 5 月、嘉麻市中央公民館から子どもたちを巻き込んだ事業展開を図るよう要請を受け、年度途中ではあったが、急遽計画を立て名称を「千手ふれあいじゅく」として立ち上げた事業である。
そこで、千手地区では、嘉穂地域女性の会で公民館の清掃や花壇の整備等の活動を行っていたこともあり、子どもと共に活動を行うことから始めていった。
「夏休み☆ときめき学習」は、『社会の変容に対するだけでなく、自らの生き方を創りだしていこうとする子どもの育成』を目指して、嘉穂地区各分館が主体となり、学校・地域・関係機関との連携を図りながら体験活動を進めていくことを目的として、平成 22 年度より立ち上げた事業である。

7. プログラム作成の視点

「千手ふれあいじゅく」事業の立ち上げへのきっかけは、嘉穂地域女性の会が主導でスタートしたものである。現在では、①子どもたちが地域の多世代の方々と対話し、ふれあいの場をつくる。②地域の環境・美化整備等の活動を通じて、ボランティアの喜びを体験する。③大人の方たちと交流することで、地域の伝統や行事などについて学ぶ。以上3つの目的に基づき公民館と地域女性の会が連携し、企画・運営を行っている。

「夏休み☆ときめき学習」は地域社会の教育力向上が求められている現在、公民館を核として、学校、家庭、地域の三者が連携し、地域の子どもたちを対象に、学習タイム（補充学習）とおたのしみタイム（体験活動）を設定している。

これは、世代を超えた交流を通して地域について学び、ふるさとを愛し誇れる心を育てるために、地域をフィールドとした学習活動・体験活動を行うことを目的として、平成22年度より毎年夏休み期間に開催している事業である。

8. 事業内容

千手分館の活動は、主な柱として①青少年育成事業、②高齢者対策事業、③スポーツ振興事業、④地域づくり事業を掲げている。

青少年育成事業では「千手ふれあいじゅく」と「夏休み☆ときめき学習」の開催。高齢者対策事業では、年5回の千手大学講座や敬老会の開催。スポーツ振興事業では、青壮年主体の10行政区対抗ソフトボール大会や女性を主体としたソフトバレーボール大会を開催。地域づくり事業では、公民館だよりの発行やイベント開催の支援などを行っている。

「千手ふれあいじゅく」の開催にあたっては、公民館の清掃及び子どもと大人のふれあいクッキングやそば打ち、地元の史跡探訪など年間3回程度行っている。この9年間は手探り状態で行ってきたが、参加者からは大変喜ばれており開催してよかったと実感している。また、経費を抑えるため、地域女性の会の会員が食材を持ち寄るなど、人材を含めたこの事業のサポート体制は地域の特色が活かされたものである。

「夏休み☆ときめき学習」も同様に、地域の方々のサポートをはじめ、小学校の先生方のフォロー（朝の学習時）や高校生ボランティアの協力にて、毎年夏休み期間の5～6回行っている。

【平成26年度活動内容から（ふれあいじゅく、ときめき学習）】

月日	活動内容（ときめき）	参加数	月日	活動内容（ふれあい）	参加数
7/25	川遊び、そーめん流し	18	10/5	押し花を使って	17
7/29	カレーづくり	15		カード、ブックカバー	
8/4	お抹茶体験	10		づくり	
8/20	水鉄砲、竹かっぽりづくり	13	12/21	餅つき	17
8/26	成果発表、ゲーム	10	3/8	ニュースポーツ（予定）	
【事業費内訳】 支出 11,888円 (参加費1人100円×66人分、分館5,288円)			【事業費内訳】 支出 9,991円 (分館 9,991円)		



9. 事業の成果

今年度より小学校の統廃合により地域から2つの小学校がなくなり、子どもたちと地域の関わりが遠のくのではないかと懸念された。しかし、子ども会や学校を通しての呼びかけや公民館だよりによるPR等もあり、参加人数の減少を押しえられたと考えられる。また、地域からの協力者は昨年と同様であり、地域の子どもは地域で育てるといった意識が定着しているため、参加した子どもや保護者から大変好評を得ている。

10. 今後の課題

小学校の廃校により、今まで行えていた連携がどこまでできるのか懸念されたが、小学校の校長の理解もあり、昨年以上に先生方の協力が増加したことも確かである。

今まで開催されていたスクールキャンプの中止に伴い、地域で開催する事業へ先生方が参加することで、地域と学校の連携がとれ、子どもと地域は現在もつながっている。

しかし、地域の特性上、保護者が子どもの送迎を行う負担への対応や各行政区に点在する子ども会へ呼びかけるなど連携が必要である。

今後の展望としては、千手分館のみならず他の嘉穂地区3分館も同様に、地域に課せられた問題など解決するための取組みをはじめ、子どもから高齢者まで地域全員の幸せと健康を推進する場として公民館が再認識されている。

子どもの豊かな心と確かな学力を育てるために、子どもの意欲・やる気を育てる活動等の取組みが重要である。その取組みとして地域・学校・その他関係団体と連携した多様な体験活動等を実施し、「自ら学び、自ら考える力」を培うことが現代の子どもたちに必要な項目の一つであると考えており、その役割も公民館に課せられていると認識している。また、地域の活力は子どもたちの活躍から生まれるという考えから、子どもたちを地域で育てるといった意識を更に拡大させ、子どもたちが多くのことを学び、体験できる場を確保していく必要がある。

これから先、過疎化や少子化の波の中、千手分館に何ができ、何を求められているのかを、これからも関係者とともに地域住民全体に呼びかけ、話し合いながら解決していくよう努めていきたい。

11. 問合せ先 〒820-0302 嘉麻市大隈町 1228 番地 1

嘉穂生涯学習センター夢サイトかほ内 嘉麻市中央公民館

TEL : 0948-57-0080 FAX : 0948-57-3661 Mail : pub@city.kama.lg.jp